

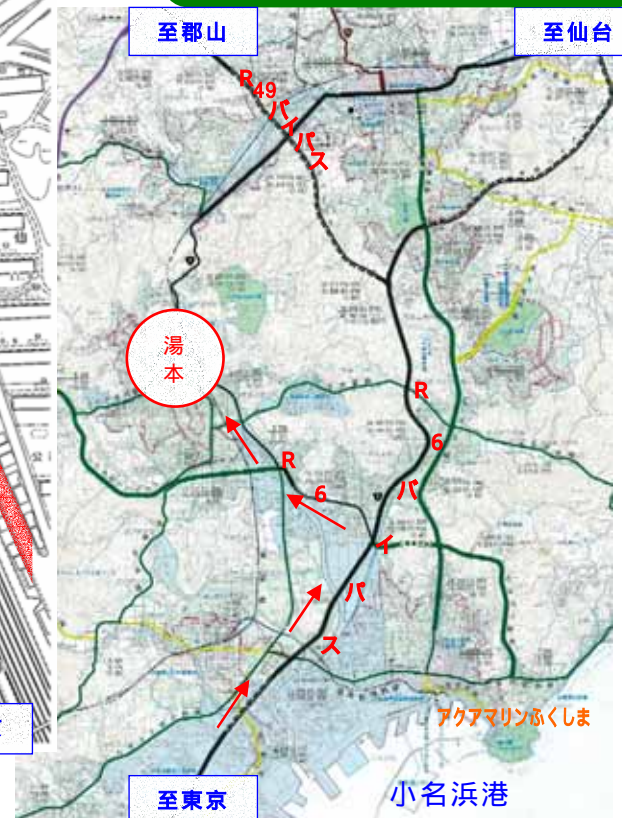
### もてなしの心を紹介します～常磐湯本編～

歴史のある湯本温泉は、泉質・湯量ともに大変恵まれています。まちなかには足湯があったり、日帰りの公衆浴場があったり、気軽に温泉が利用できる環境が整っています。湯本を訪れてくれた人に対するもてなしの心が表れているような気がします。

地域の宝物は温泉だけではありません。みなさん「野口雨情」という人はご存知ですか？野口雨情は北原白秋、西條八十と並ぶ「童謡三大作詞者」の一人です。雨情は大正時代の一時期、湯本に住んでいたことがありました。いわき湯本には雨情ゆかりの宿や散策の路などがあり、常磐線湯本駅の発車メロディーは雨情作詞の「しゃぼん玉」になっているんですよ！電車でお越しの際は、耳を澄まして聞いてみてください！

「童謡館」只今準備中です！

温泉街のにぎわい創出と、湯本の文化を次世代に継承するという目的から、「童謡館」今夏開設に向けて、地元のみなさんが汗をかいています。「童謡館」には、野口雨情の童謡集や民謡集、直筆の楽譜などが展示される予定です。大変貴重な資料がたくさん見ることができるので、開設しましたら、是非一度足をお運びください！！



#### 「鶴のあし湯広場」

ペットが入れる足湯もあり、注目を集めています。マナーを守りながら入りましょう！！





# まちづくり功労者大臣表彰「じょうばん街工房21」

平成19年度「まちづくり月間」における“まちづくり月間国土交通大臣表彰”で、いわき市の「じょうばん街工房21」(寺主君男代表)が表彰されました。受賞は全国で42件、東北では唯一の受賞です。

昭和30年代後半に「常磐懇話会」としてスタートし、昭和43年には「常磐地区振興会」と改称。炭鉱閉山問題にたいする陳情等、様々な事業を展開してきました。平成6年3月には常磐地区の諸団体、企業、個人が年齢や地域を越え、一体となってまちづくりを推進する「じょうばん街工房21」を設立しました。

発足から13年間、湯本温泉を活用した足湯のある広場の整備や温泉街と炭鉱跡を結ぶ回遊ルートを検討するなど、温泉や石炭等の地域資源を活用した賑わいづくりに取り組み、地域間交流の促進に尽力するほか、まちづくりの啓蒙普及や人材育成等、幅広い活動でまちづくりに貢献していることが評価されました。

「じょうばん街工房21」のみなさん、おめでとうございます、(^o^)

「鶴のあし湯広場」で開催した縁日



表彰式の様子



代表の寺主さん



## 今号の問題です！

いわき湯本温泉の歴史は古く、道後温泉、有馬温泉とともに日本三古湯に数えられています。さて問題です。いわき湯本温泉の開湯は何時代でしょう。

前号の答え

「長崎は、日本初の蒸気機関車が走った(1865年)場所なんだそうです。」

# ☆元気ふくしま交流会を開催します☆

元気ふくしま、地域づくり推進事業 平成19年度事業

## 元気ふくしま交流会

～地域主体のまちづくりのススメ～

福島県では、平成16年度より「元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業（以下、元気ふくしま事業）」に着手し、県内資源や観光資源等の地域資源を活用し、持続的成長が可能な、個性と魅力ある地域づくりの交流人口の拡大に結びつく取組みを地域の個人や市民団体とともに進めてまいりました。私たちは、「まちづくり」とは地域社会に存在する資源を基盤として、多様な主体が連携・協力して地域の活力と魅力を高め、生活の質の向上を実現するための一途の持続的な活動であると捉えており、この想いを踏まえ、地域に誇りと愛着を持ち、長期に渡って確かな人と人との連携、協力しながら活動できる地域の方々であると考えております。

この交流会は、「地域主体のまちづくりのススメ」をテーマに、それぞれの地域で実施されている取組状況について紹介し、まちづくりについての情報交換、意見交換を通して、地域住民主体のまちづくりの推進や各地域の連携・交流に繋がりたいと考えております。

《参加対象者》  
 ・各地域で実施している懇談会、ワークショップ等に参加している方  
 ・これからまちづくりに取り組もうとしている方  
 ・まちづくりに関心のある方

《取組紹介地区》  
 ■ 羽州奥州街道地区（桑折町、国見町）  
 ■ 須賀川市長沼地区（須賀川市）  
 ■ 白河市南湖公園地区（白河市）  
 ■ 会津本郷地区（会津美里町、下郷町）  
 ■ 喜多方中心市街地地区（喜多方市）  
 ■ 高瀬川渓谷地区（浪江町）  
 ■ 常磐湯本地区（いわき市）

平成18年度整備地区 羽州奥州街道分岐点（桑折町）

平成18年度整備地区 只見川船着き場整備（三島町）

プログラム  
 13:00 開会  
 13:05 あいさつ  
 13:10～13:20 常磐湯本地区取組紹介  
 13:20～13:30 高瀬川渓谷地区取組紹介  
 13:30～13:40 喜多方中心市街地地区取組紹介  
 13:40～13:50 会津本郷地区取組紹介  
 13:50～14:10 休憩（交流タイム）  
 14:10～14:20 白河市南湖公園地区取組紹介  
 14:20～14:30 須賀川市長沼地区取組紹介  
 14:30～14:40 羽州奥州街道地区取組紹介  
 14:40～14:50 休憩  
 14:50～16:25 意見交換  
 16:30 閉会

日時：平成19年8月3日（金）午後1時～午後4時30分（12時30分開場）  
 場 所：福島大学サテライト「街なかランチ」共用室1・2 ※案内図 裏面参照

「元気ふくしま交流会」は、県内の各地域で実施されているまちづくりの取組状況について紹介し、まちづくりについての情報交換、意見交換を通して、地域のみなさんが主体のまちづくりの推進や各地区の連携・交流に繋がりたいと考えております。

テーマ 地域主体のまちづくりのススメ

日時 平成19年8月3日（金）  
13:00～16:30（12:30開場）

場 所 福島大学サテライト  
「街なかランチ」共用室1・2  
（チェンバおおまち3階）

申込み締切 平成19年7月27日（金）

参加対象者

県内各地で実施している懇談会、ワークショップ等に参加している方  
 これからまちづくりに取り組もうとしている方  
 まちづくりに関心のある方

取組み紹介地区

羽州奥州街道地区（桑折町、国見町）  
 須賀川市長沼地区（須賀川市）  
 白河市南湖公園地区（白河市）  
 会津本郷地区（会津美里町、下郷町）  
 喜多方中心市街地地区（喜多方市）  
 高瀬川渓谷地区（浪江町）  
 常磐湯本地区（いわき市）

参加申込み方法

氏名・職業・電話番号を記入の上、FAX、メール、またはお電話にてお申込み下さい。  
 申込みに際して、提供いただいた個人情報は本交流会以外には使用いたしません。

お問い合わせ・お申込みはこちらまで

電話 024-521-7510

FAX 024-521-7956

e-mail

[machizukuri@pref.fukushima.jp](mailto:machizukuri@pref.fukushima.jp)

H P

<http://www.pref.fukushima.jp/machi/>

問い合わせ、申し込み先：  
 下記申込書にてFAX、メールまたは電話にてお申し込みください。  
 メールの場合は、件名を「元気ふくしま交流会申込書」とし、氏名、職業、電話番号を記載してください。  
 福島県土木部都市環境まちづくり推進グループ 担当 綾川、藤江  
 電話 024-521-7510 Fax 024-521-7956  
 メール 以 [machizukuri@pref.fukushima.jp](mailto:machizukuri@pref.fukushima.jp)

交流会会場 案内見取り図  
 福島大学サテライト「街なかランチ」共用室1・2  
 住所：福島市大町4-15 チェンバおおまち3F  
 ※会場には駐車場がありませんので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。  
 なお、お車で越しの際は駐車場が利用できます。

「元気ふくしま交流会」参加申込書

申込締切：7月27日（金）  
 Fax: 024-521-7956 まちづくり推進グループ 綾川行き

氏名	職業	電話番号



# すばらしいまち写真コンテスト

## まだまだ作品募集中！！

まちづくり月間(6月)を契機に、県民のみなさん一人一人に自分たちのすばらしい「まち」(自慢できるまち、誇れるまち)を改めて見つめてもらい、これからの「まち」のすがたを考えるきっかけづくりを目的に、みなさんから見たまちの写真を募集します。

特に、次代を担う生徒・学生の方からの多くの応募をお待ちしております。

- <テーマ> まちと人.....みなさんが住んでいる「まち」で、すばらしいと感じた人々の表情など、まちと人とのかかわりを題材とした写真  
まちの風景...みなさんが住んでいる「まち」で、美しい、すばらしいと感じた街並み、道路、公園などで人々の生活が感じられる写真。

### <応募要項>

サイズ 四つ切り(ワイド四つ切りも可)又はA4判(カラー、モノクロは問いません。デジタルカメラ可、デジタルカメラの場合光沢紙使用。)

応募期限 **平成19年8月31日**(当日消印有効)

その他詳細は、まちづくり推進グループのホームページ

(うつくしま、まちづくり情報発信局 <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>) をご覧下さい。

応募用紙の郵送も行っています。お気軽にお電話下さい!!(024-521-7510)

こちらを切り取って応募用紙としてご利用いただけます。

【応募用紙】 写真の裏面にお張りください。(コピー又は自作したものでも結構です)

### すばらしいまち写真コンテスト応募用紙

テーマ	まちと人	まちの風景	どちらかに○を付けてください	カメラの種類(下記のどちらかに○を付けてください)
題名				
住所	(〒 - )			フィルムカメラ   デジタルカメラ
氏名・年齢	( 歳)			写真の説明(具体的な撮影状況を記入してください。)
電話番号				
職業				
生徒・学生の場合 学校名・学年	(短期) 大学 年 学校 年			
撮影年月	平成 年 月 頃			
撮影場所	福島県	市(郡)	町(村)大字	字 地内

### 編集者ひとりごと

例年より10日ほど遅れた梅雨入り。とはいえ、雨は少なくとも暑い日が続いていますが、みなさんはいかがお過ごしでしょうか？

この時期は、食中毒が発生しやすくなります。“手洗いやうがいは、風邪のひきやすい冬のもの！”と思っているあなた！！食中毒予防のためにうがい・手洗いは行いましょう(^-^)

### 編集後記

「まちづくり瓦版～うつくしま、まちづくり推進レポート～」(Vol.27)はいかがでしたでしょうか？これからも皆様と一緒に、より充実したものにしていきたいと思っておりますので、取り上げてほしい事例や写真、ご意見・ご感想などございましたら遠慮なくお寄せ下さい。

メールマガジン(無料)の申し込みをご希望される方は、  
1. 団体会社名、2. 氏名、3. メールアドレス、4. 電話番号等(送信エラーの際のご連絡のため)、よろしければ、  
5. 性別、6. 年齢を記入の上、まちづくり推進グループのメールアドレスまで希望する旨ご連絡下さい。

京 登録された方には、レポートの更新情報などをメールにてご案内いたします。

### 【発行元】

福島県土木部都市領域まちづくり推進グループ  
まちづくり支援のための総合窓口です

〒960-8670(住所記載不要)

TEL 024-521-7510

FAX 024-521-7956

e-mail [machizukuri@pref.fukushima.jp](mailto:machizukuri@pref.fukushima.jp)

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>

